

第14回 議員と語る会(2025)

議会懇談会

令和7年(2025年)12月26日
発行／河北町議会
編集／議会運営委員会

河北町農業の課題は

10月16日に、さがえ西村山農協の役員6人、営農生活センター長、河北支所長の2人と河北町議会の総務産業・厚生文教常任委員の5人が懇談いたしました。

河北町の農業は

河北農業生活センター長
渡部 恵嗣さん

異常気象が常態化し、収量が減少、今年度は7月の渴水と8月の高温で1割減少、ひどいところは5割減少しています。ふるい下米が多い状況です。

A man with glasses and a suit is speaking into a microphone. He is gesturing with his right hand. The background shows a door handle and a wall.

枝豆、さくらんぼの果樹栽培など複合的な経営が特徴です。

農家の年齢は5年前で75歳以上が36%、65歳以上が78%、若い農家がとても少ない状況です。

枝豆も高温障害で年々収量が減り、8月の高温により、身が入らない症状が出ています。

An illustration of a rice plant with three ears of rice. The plant has long, thin green leaves and a green stem. The ears of rice are yellow with brown tips, arranged in a curved arc. The background is a light blue circle.

町民・国民の 食の安全を守る役割

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is gesturing with his hands while speaking, with one hand pointing upwards and the other hand partially visible. He is wearing a name tag on his suit jacket. The background is a plain, light-colored wall.

岩木 繩潤一さん

J Aは食の安全を守っていく役割があると考えます。今回、米の概算金は3万円ほどになりましたが、一方で資材費は1・5倍になっています。

今後米価が下がり、資材代だけが高くなる事態も心配され、町による資材代高騰対策などの検討を求めたいです。

取扱量が過去最低となり、生産者が30人減少、開花期の天候不順、収穫期の高温によるウルミで、2年続けての不作になりました。

で資材費は1・5倍になっています。

今後米価が下がり、資材代だけが高くなる事態も心配され、町による資材代高騰対策などの検討を求めたいです。

果樹園芸の資材、 物価高に対策を

田井
関将利さん

果樹園芸にも勢いが欲しいです。果樹園芸の資材の物価高に対策が必要です。

サクランボ産地大切に 退職後の農家支援を

北口 石垣正博さん

農業をゼロから始めるのは大変

西部地区の中山間部は耕作放棄地に対策を

谷地 浅黄 美津子さん

沢畑 藤田正広さん
谷地西部地区は中山

退職後にサクランボと枝豆を作つていま

中山間地域の農地面積が5アールくらいで、平野部の水田30アールに対し小ささ



11月18日に、区長会の役員4人と河北町議会の厚生文教・総務産業常任委員の9人が懇談しました。

今後のまちづくりについて

まちづくりに対する具体的・全体的な青写真が見えないことについて



まつりのことは
町全体で

うか。
少子化の影響で、谷地さんがまつりをはじめ、各地の伝統まつりを継承するのには多くの課題があります。

谷地さんがまつりだけではなく、町全体で実施できる体制を構築すべきではないでしょか。



区長のなり手不足

西里 岡田 桂司区長
溝延 佐藤眞潮区長

青写真が見えない
町民・行政・議会が一緒に

谷地 布川雄一区長

議会が一緒となつて取り組まなければならぬと考へています。

役場の職員の皆さんには業務に対して全体を見て、他の課とつながりがあるような仕事をやってもらいたいです。

また、快い笑顔としつかりとしたあいさつ、窓口での受け答えなどが町民をなごます

力になります。

「議会だより」に期待

政策課題の検討結果を掲載して欲しいといふこと。また、一般質問の答弁の結果が「検討する」となった後、検討の結果がどうなったのかを教えて欲しい

河北町として、谷地どんがまつりが伝統的なこととしてあります。が、沢畑の風まつりや溝延の八幡のまつりなど各地にあります。

毎年要望を行つてきたが、実現できた項目が少なかつたです。できる・できない結果を町民に説明することも大切ではないかと思います。

また、事業の実施については町民・行政・

区長の仕事が多く、なり手が不足しています。区長の仕事の軽減が必要ではないでしょうか。

さらに、協議会等のあて職の役割が多いです。町は区長の仕事を精査して欲しい。

まちづくりについては、西里地区は毎年、町民の声を町長、課長に要望しています。役場への要望は、取り下げるに実現しないので、継続して言うことが大事だと思って出しています。

まちづくりについて取り組まなければならぬと考へています。

役場の職員の皆さんには業務に対して全体を見て、他の課とつながりがあるような仕事をやってもらいたいです。

また、快い笑顔としつかりとしたあいさつ、窓口での受け答えなどが町民をなごます

力になります。

今はまちづくりの青写真がないのではないかと感じています。

まちづくりは各地域の情報発進で成り立っています。

北谷地 中野 励区長



活性化を期待



まちづくりは各地域の情報発進で成り立っています。

北谷地 中野 励区長

と思います。

今はまちづくりの青写真がないのではないかと感じています。

まちづくりは各地域に目を配り、対応をやつて欲しいです。

各地区に目を配り、対応をやつて欲しいです。

○佐藤議員

人口減少社会において、谷地地区だけでなく、周辺の地区も活力ある町を創造する計画が大事です。

○吉田議員

人口減少社会において、谷地地区だけでなく、周辺の地区も活力ある町を創造する計画が大事です。

河北町総合計画を基本としてまちづくりを推進していますが、町長はリーダーシップを發揮し施策の実効性を高めることが大事ではないかと思います。また、人口減少対策とし

てこないと感じます。

引竜湖へのアクセスができるない、道路が狭く通りにくい。引竜湖をもつと活用できません。

のか、残念に思っています。

河北町長会

て、企業誘致についても積極的な取組みが必要です。

町立小中学校の在り方について

布川区長

町が進めているのは義務教育校でない小中一貫型の学校にするということ。

従つて、小学校、中学校にそれぞれ校長が配置され、系統的な教育を実施する設置形態です。

財政が厳しいのであれば、小学校と中学校がひとつの中学校でなくても良いのではないかと思います。町民の意見を良く聞いて進めてもらいたいです。

佐藤区長

子どもの将来を第一に考えて欲しいと思います。あり方検討委員会では小学校一校に結論付けました。あり方検討委員会を溝延地区で行わ

れた際は参加者が少なかったです。溝延小学校においても子どもの数が少なく、団体競技ができない状況です。

令和13年開校の案については、保護者の方から是非にという声もありました。整備委員会で事業の金額が提示

されたところです。

岡田区長

小中一貫教育については、議会が視察研修した成果を参考にして、教育方針にいかして欲しいと思います。

観光物産協会等との共通的具体的なイメージについて、歴史と文化のまちとして、河北町の独自性を打ち出すことについて

資料館の体制強化を

歴史と文化のまちとして、河北町の独自性

の拡大に向けた知恵を期待します。

○鈴木議員

紅花資料館などを本当に大切にしていくつもりがあるのかなと思います。学芸員の2名体制は考えられないで

○安孫子議員

町の豊富な観光資源（動物園や紅花等の文化）を面的に整備し発信すべきではないかと思っています。重要なことは、滞在してもらうことが大事であり、受け皿として、民間や企業等と連携を密にし「地域資産」を観光の魅力に変えることが大切です。

○増川議員

事業変更の内容と住民説明会の状況は8月



体制強化が望まれる紅花資料館

佐藤区長

下水道事業の整備手

法見直し（溝延分区）

について数回、説明会が行われました。

参加者からは合併処理浄化槽の性能（悪臭対策など）の不安が指摘されました。

議会は、このような状況を把握しているの

でしょか。

下水道への接続率は

82.5%くらいです。

10年以上、接続して

いない家庭は、高齢者や一人暮らしの方が多

いようです。

下水道事業が公営企

業会計に移行したた

め、収支について厳し

く見ていくことになりました。

下水道事業が公営企

業会計に移行したた

め、収支について厳し

く見ていくことになりました。

下水道整備事業について 一部の地域が未設置地域になったことにに対する議会の対応は



東北で見られるのは本町だけ
話題のオニオオハシ（動物園）

園と合わせて交流人口あり方検討委員会の会合を溝延地区で行わ

に報告を受けています。地区に説明し、一定の理解を得たと聞いています。

懇談会参加者

(敬称略)

理事	繩 潤一	J A 河北支所長
理事	石垣 正博	
理事	奥山 利弘	
理事	関 将利	J A 河北營農生活
監事	センター長	
理事	渡部 恵嗣	
監事	藤田 正広	
	浅黄美津子	



河北町区長会

会長 佐藤 真潮
副会長 岡田
副会長 布川
副会長 中野
副会長 雄二
副会長 研



議会運営委員会
編集担当
委員長 石垣 光洋
副委員長 細矢 誓子
委員 佐藤 修二
委員 鈴木 林信弘
委員 品川 英友
委員 増川 憲一



地域の課題や未来への展望について、率直な意見交換ができた有意義な時間でした。

皆さまの声を受け止め、提言に活かす努力を続けてまいります。

今後も懇談会を通じて、住民と議員が共に歩む姿勢を大切にし、より良いまちづくりに向けて邁進していきます。

発刊にあたつて

2025年12月26日

発行／河北町議会

編集／議会運営委員会